

だい かいあい ち けんしょうが いしゃぎ のうきょうぎ たいかい
第46回愛知県障害者技能競技大会

きょうぎ きょうぎ かいだい
ビルクリーニング競技 競技課題

いっぱんでき ちゅうい じこう
一般的な注意事項

きょうつう
< 共通 >

- 1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上演習」の2課題です。
また、競技は、課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性床清掃及び机上演習」の順番で行います。課題1と課題2の間は休憩時間となり指定場所で待機していただきます。
- 2 どちらの課題も、作業面積は、16 m²(4m×4m) 幅木による区画とし、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 4 2課題とも次の規定時間が定められています。
① 課題1 7分 ② 課題2 10分
なお、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。
① 課題1 2分 ② 課題2 3分
また、規定時間をそれぞれ1分超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、競技委員の指示に従ってください。
- 5 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行います。競技者は、挙手または「はじめます」と申告して、スタートしてください。競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。また、作業ごとの、入退出を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
競技中は上記以外の声は出さないでください。

※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

- 6 課題においてイスを机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
- 7 作業終了後、競技時間を発表します。
- 8 両競技で使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。
- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、加点方式により行います。
- 11 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

<課題1 カーペット床清掃>

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 3 床のゴミは、「シュレッダーで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。

<課題2 弾性床清掃及び机上清掃>

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ゴミ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに、競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のゴミは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

しきざいちらん
【資機材一覧】

きょうぎかいじょう じゅんぴ
1. 競技会場に準備されているもの

かだい
(1) 課題1

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりょう 数量
しんくうそうじき 真空掃除機	がた ポット型 リンレイ RD エコ2型	だい 1台
つくえ 机	ぎのうけんていし きざい じゅんきよ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	だい 1台
イス	しきお パイプ式折りたたみ	きやく 1脚
ごみ箱 ぼこ	かくがた 角型	こ 1個

かだい
(2) 課題2

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりょう 数量
きぎょう 作業カート	ぎのうけんていし きざい じゅんきよ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	だい 1台
きぎょうひょう じばん 作業標示板		こ 1個
ワンタッチモップ柄 え	しんしゆくえ ワンタッチアルミ伸縮柄	ほん 1本
ラージ (モップ房) ふさ	はくしよく 260g 白色	こ 1個
こがた 小型ぼうき	はばよう 30cm幅用	ほん 1本
かんしき 乾式モップヘッド	63cm	こ 1個
ぶんか 文化ちりとり	ぎのうけんていし きざい じゅんきよ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	こ 1個
タオル	むじ みずふ よう あおいろ まい 無地 水拭き用 (青色) 1枚 むじ からふ よう はくしよく まい 無地 から拭き用 (白色) 1枚	まい 2枚
ダスタークロス	はば ふしよくふ 69cm幅の不織布	まい 1枚
ビニール袋 ぶくろ	ぼこようかえふくろ ゴミ箱用替袋	まい 1枚

つくえ 机	ぎのうけんていし きざい じゆんきよ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	だい 1台
イス	しきお パイプ式折りたたみ	きやく 1脚
ぼこ ゴミ箱	かくがた 角型	こ 1個

2. せんしゆ じさん
選手が持参するもの

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりよう 数量
さぎょうぎ うえ した 作業着 (上・下)		ちやく 1着
さぎょうぼうまた さんかくきん 作業帽又は三角巾		こ 1個
さぎょうぐつ 作業靴		そく 1足

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃 (作業時間: 7分)

作業仕様

<p>作業工程</p>	<p>作業方法</p>	<p>補足事項</p>	<p>備考</p>
<p>資機材の準備</p>	<p>・作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 ・真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 ・作業標示板は既に所定の位置に立ててある。</p>	<p>・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>・資機材の点検終了後、係員の指示に従いつつ、</p>
<p>競技開始の挨拶</p>	<p>・競技委員の「始め」の合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>・片手を挙げ、一礼する。</p>	<p>・作業開始を申告する。</p>
<p>作業準備</p>	<p>・真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。</p>	<p>・吸込口に手をあて、吸引量があるか点検する。</p>	
<p>入室の挨拶</p>	<p>・入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>・「失礼します」と一礼して入室する。</p>	

<p>じょじん さぎょう 除塵作業</p> <p>しんくうそうじき (真空掃除機)</p>	<p>しんくうそうじき しょう ①真空掃除機を使用し、</p> <p>そと いりぐち じょじん 外から入口を除塵し、</p> <p>にゆうしつ 入室する。</p> <p>しつない さぎょうてじゆん ②室内での作業手順</p> <p>は、カーペット床作業手 ゆかさぎょうて 順のとおり行う。</p> <p>じゆん おこな ③ゴミ箱は、持ち上げて</p> <p>じょじん 除塵する。</p> <p>ぜんしん じょじん ④前進しながら除塵す</p> <p>る。</p> <p>さぎょう しゆうりよう ⑤作業が終了したら</p> <p>そうじき しつない だ 掃除機を室内より出して</p> <p>プラグを抜く。</p>	<p>いりぐち ふ ・入口のゴミを踏まない</p> <p>ように広めに足場を確保 ひろ あしば かくほ する。</p> <p>すいこみぐち ゆか つよ お ・吸込口を床に強く押し つけない。</p> <p>てまえ ひ だ ・イスを手前に引き出し、</p> <p>つくえ した じょじん おこな 机の下の除塵を行い、</p> <p>もと もど 元に戻す。</p> <p>そうじきほんたい て も ・掃除機本体は、手で持つ</p> <p>いでう て移動する。</p> <p>も も ・プラグを持って抜く。</p>	<p>・ゴミは、シュレ ッダーで裁断し さいだん たものを 50ml程 てい 度均等にまいて どきんとう ある。</p> <p>・掃除機のコー そうじき ドを持って抜か ぬ ない。</p>
<p>てんけん 点検</p>	<p>ゆびさ また もくしてんけん ・指差し又は目視点検を</p> <p>おこな 行う。</p>	<p>しきざい わす と ・資機材の忘れ、ゴミの取</p> <p>のこ てんけん り残しがないか点検す</p> <p>る。</p>	<p>こえ だ ・声を出さない こと。</p>
<p>たいしつ あいさつ 退室の挨拶</p>	<p>でぐち しつない む ・出口にて、室内に向かっ</p> <p>たいしつ あいさつ おこな て退室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい どう いち ・「失礼しました」等と一</p> <p>れい たいしつ 礼して退室する。</p>	
<p>しきざい かたづ 資機材の片付け</p>	<p>しんくうそうじき ・真空掃除機のコードを</p> <p>ま しんくうそうじき ほんかん 巻き、真空掃除機を保管</p> <p>ばしょ もど 場所に戻す。</p>		
<p>しゆうりよう あいさつ 終了の挨拶</p>	<p>しよてい いち た しゆう ・所定の位置に立ち、終</p> <p>りよう あいさつ おこな 了の挨拶を行う。</p>	<p>お どう い ・「終わりました」等の意</p> <p>しひょうじ おこな 思表示を行う。</p>	<p>さぎょうしゆうりよう ・作業終了</p> <p>しんこく を申告する。</p>

かだい だんせいゆかせいそうおよ きじょうせいそう さぎょうじかん ぶん
 課題2 弾性床清掃及び机上清掃 (作業時間:10分)

さぎょうしりょう
 作業仕様1-1

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんび 資機材の準備	さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材 (タオル・モップ等)は、 すでに作業カート(以下 「カート」)上部に準備 されている。 ①ワンタッチモップ柄(以 下「柄」)の長さを調整 し、カートの所定の場所 にセットする。 ②ダスタークロスを乾式 モップヘッド(以下「ヘッ ド」)に装着し、カート 上部に置く。	ひつよう しきざいおよ すう ・必要な資機材及び数 量は、資機材一覧を参 照すること。 ・資機材が過不足無く準 備されているか点検し、 異常があれば申し出る。	しきざい てんけん ・資機材の点検 終了後、係員 の指示に従い 所定の位置に立 つ。
きょうぎかいし あいさつ 競技開始の挨拶	しよてい いち た きょう ・所定の位置に立ち、競 技委員の「始め」の合図で 「はじめます」と挨拶を 行い、競技を開始する。	かたて あ いちれい ・片手を挙げ、一礼する。	さぎょうかいし ・作業開始を 申告する。
さぎょうじゅんび 作業準備	・カートを保管場所から 作業場所の近くへ移動 し、作業標示板を立て る。		

<p>にゆうしつ あいさつ 入室の挨拶</p>	<p>いりぐち しつない む ・入口にて、室内に向か って入室の挨拶を行 う。</p>	<p>しつれい いちれい ・「失礼します」と一礼し て入室する。</p>	
<p>あ しより イス上げとゴミ処理</p> <p>(1) イスをあげる</p> <p>(2) ゴミの回収</p> <p>(3) ゴミ袋のセット</p>	<p>さぎょうまえ きじょう ①作業前にイスを机上 に上げる。</p> <p>ぼこ ②ゴミ箱にセットされて いるビニール袋を回収 する。</p> <p>かいしゅう ぶくろ ③回収したビニール袋 をカートの袋の中に入 れる。</p> <p>ぶくろ かねぶくろ ④ビニール袋の替袋を と取り出し、ゴミ箱にセット する。</p> <p>ぶこ きじょう あ ⑤ゴミ箱を机上に上げ る。</p>	<p>つくえ うご ・机は動かさない。</p> <p>つくえ だ ・イスは机からはみ出さ ないように正しくのせる。</p> <p>ぶくろ ただ ・ビニール袋を正しくセ ットする。</p> <p>ぶこ つくえ だ ・ゴミ箱は机からはみ出 さないように正しくのせ る。</p>	
<p>じょじん さぎょう 除塵作業 (乾式モップ)</p>	<p>そう ①ダスタークロスを装 着したヘッドは入口の 養生マットの上でモッ プの柄に取り付ける。</p> <p>かんしき そと ②乾式モップで、外から 入口を除塵し、入室す る。</p> <p>しつない さぎょうてじゅん ③室内での作業手順 は、乾式モップ作業手</p>	<p>え せんたん おやゆび そ ・柄の先端には親指を添 える。</p> <p>へん ひろ ほう ・ヘッドの辺が広い方を 先行させる。</p> <p>いりぐち ふ ・入口のゴミを踏まない ように足場を確保する。</p> <p>ゆか はな ・ヘッドは、床から離さな い。</p> <p>しょうず ・使用済みダスタークロス はカートの袋の中に入</p>	<p>・ゴミは、おがく ずを 50ml程度均 等にまいてあ る。 ・点検の際に声 を出さないこと。</p>

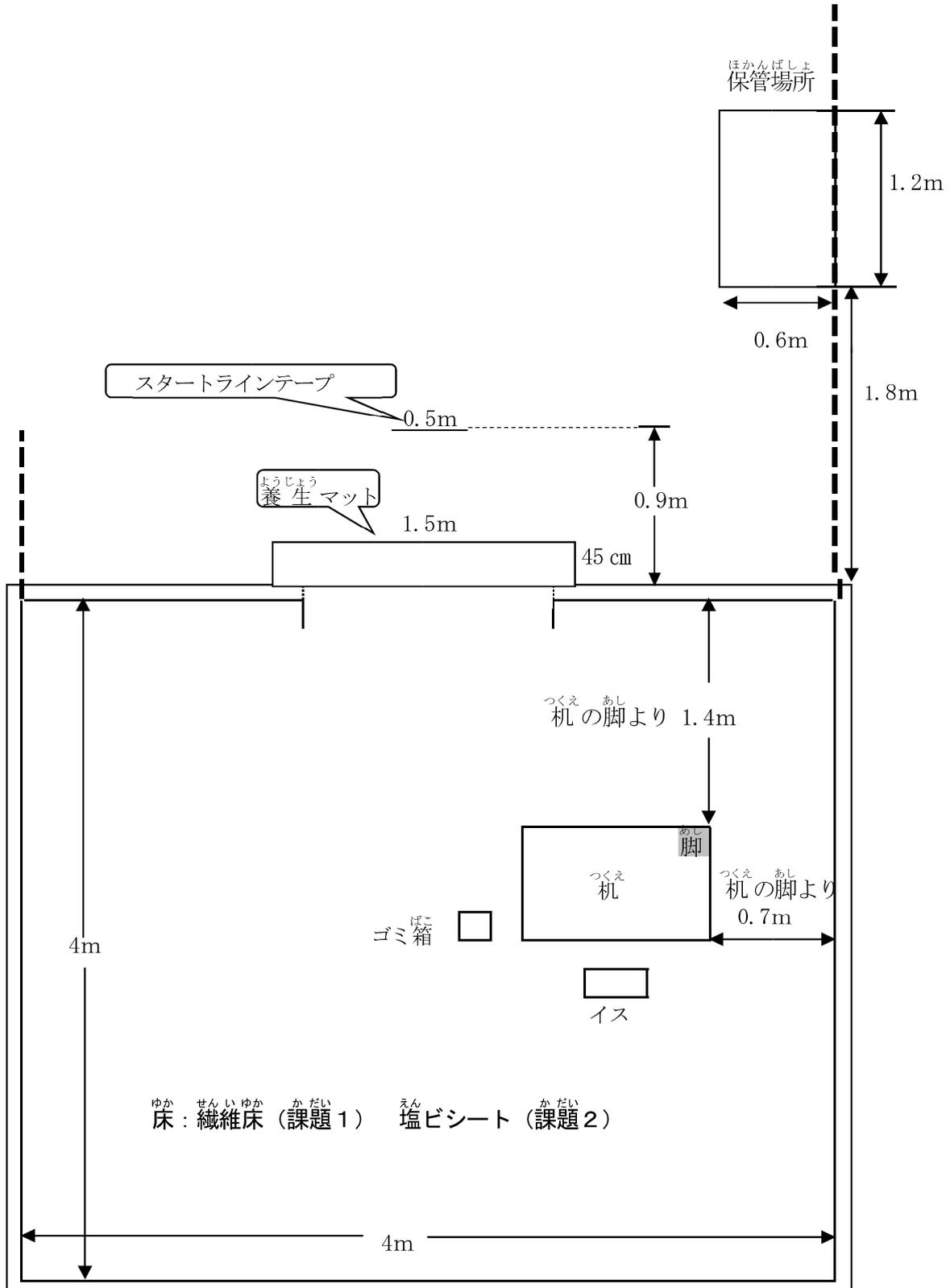
	<p>じゅん おこな 順のとおり行^う。</p> <p>③ゴミは前進しながら出^で</p> <p>ぐち む かしよ あつ 口に向かって1箇所^かに集^あめる。</p> <p>④ヘッドを柄^えから外^{はず}す。</p> <p>⑤使用済みのダスターク^しロス^{ょう}をヘッドから外^{はず}し、カ^はート^ずの袋^ふの中^{くろ}に収^な納^かす^うる。</p> <p>⑥柄^えとヘッドをカートに^も戻^どす。</p> <p>⑦小型^こぼうき^がと文化^ふちり^んちり^かとり^ちり^りを使用^し、集^あめたゴ^みミ^をを回^か収^いする^しう。</p> <p>⑧ゴミの取り残^としが^のない^こ</p> <p>てんけん か点^て検^んする。</p> <p>⑨小型^こぼうき^が、文化^ふちり^んちり^かとり^ちり^りをカートに^も戻^どす。</p>	<p>れる。</p> <p>・ゴミの取り残^とし^のがある^こ場^ば</p> <p>あい ことがた ぶんか 合^あは、小^こ型^がぼうき^たと文化^ふちり^んちり^か</p> <p>しろう かいしゅう ちり^しとり^{ろう}を使用^し回^か収^いする^しう。</p> <p>・ヘッドは、カート^じ上^{ょう}部^ぶ</p> <p>に、スポンジ^{めん}面^うを^え上^にに^し</p> <p>て、邪魔^{じゃ}にならない^まように^ま</p> <p>お置く。</p>	
--	---	---	--

さぎょうしょう
作業仕様1-2

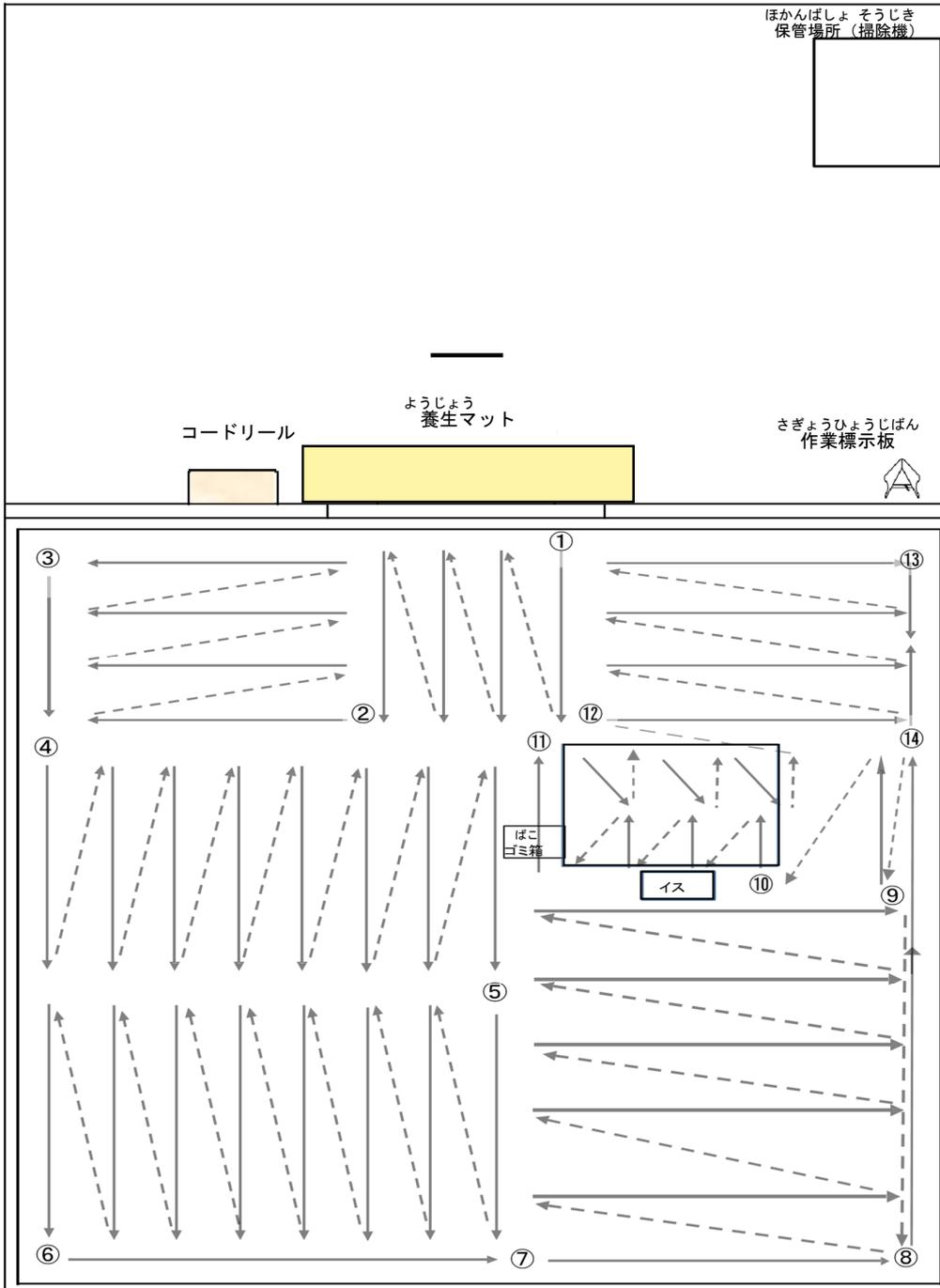
<p>さぎょうこうてい 作業工程</p>	<p>さぎょうほうほう 作業方法</p>	<p>ほそくじこう 補足事項</p>	<p>びこう 備考</p>
<p>みずふ さぎょう 水拭き作業 (モップ)</p>	<p>①コート全体面積を拭く。 ②室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。 ③コーナー周りとお机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<p>・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・柄の先端には親指を添える。 ・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。</p>	
<p>ばこ お ゴミ箱とイス下ろし</p>	<p>・安全に音を立てないよう下ろす。</p>	<p>・足の上に落とさないよう注意する。</p>	
<p>きじょうふ 机上拭き</p>	<p>①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・横拭き・縦拭きを行う。</p>	

<p>てんけん 点検</p>	<p>ゆびさ また もくしてんけん ・指差し又は目視点検を おこな 行 う。</p>	<p>しきざい わす と ・資機材の忘れ、ゴミの取 のこ り残しなどの点検を行 う。</p>	<p>てんけん さい こえ ・点検の際に声 を出さないこと。</p>
<p>たいしつ あいさつ 退室の挨拶</p>	<p>でぐち しつない む ・出口にて、室内に向かっ たいしつ あいさつ おこな て退室の挨拶を行 う。</p>	<p>しつれい いちれい ・「失礼しました」と一礼 たいしつ して退室する。</p>	
<p>しきざい かたづ 資機材の片付け</p>	<p>さぎょうひょう じばん ・作業 標 示板をカート しゅうのう ほかん に収納し、カートを保管 ばしょ もど 場所に戻す。</p>		
<p>しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶</p>	<p>しよてい いち た しゅう ・所定の位置に立ち、終 りょう あいさつ おこな 了の挨拶を行 う。</p>	<p>お どう い ・「終わりました」等の意 しひょうじ おこな 思表示を行 う。</p>	<p>さぎょうしゅうりょう ・作業 終了 しんこく を申告する。</p>

ひょうじゆんはいちず
標準配置図 (モデル)



ゆかさぎょうてじゆん
カーペット床作業手順



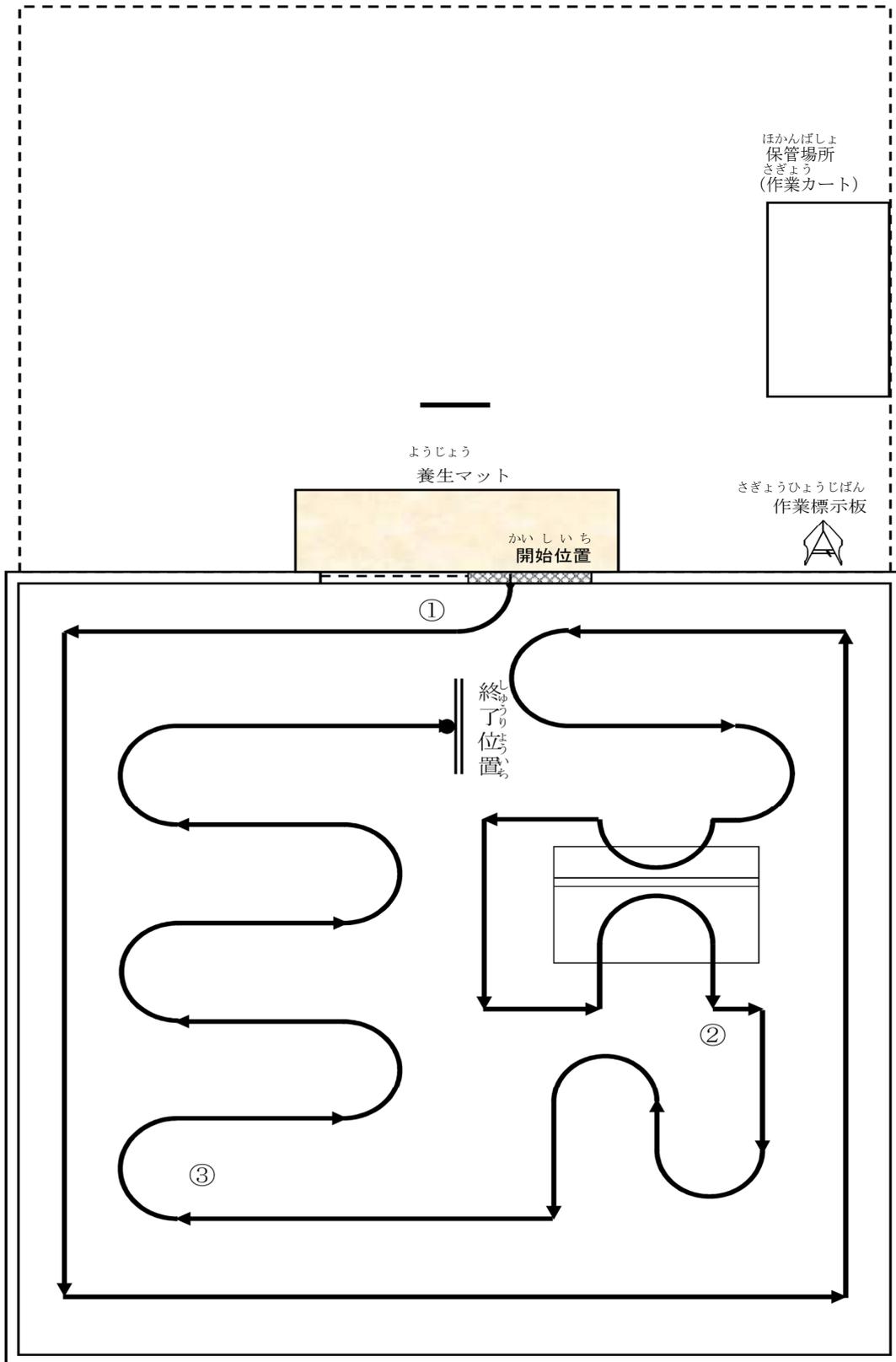
ちゆう さぎょう しんこう
注：作業の進行①-⑭

きゆういんかいすう い
吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

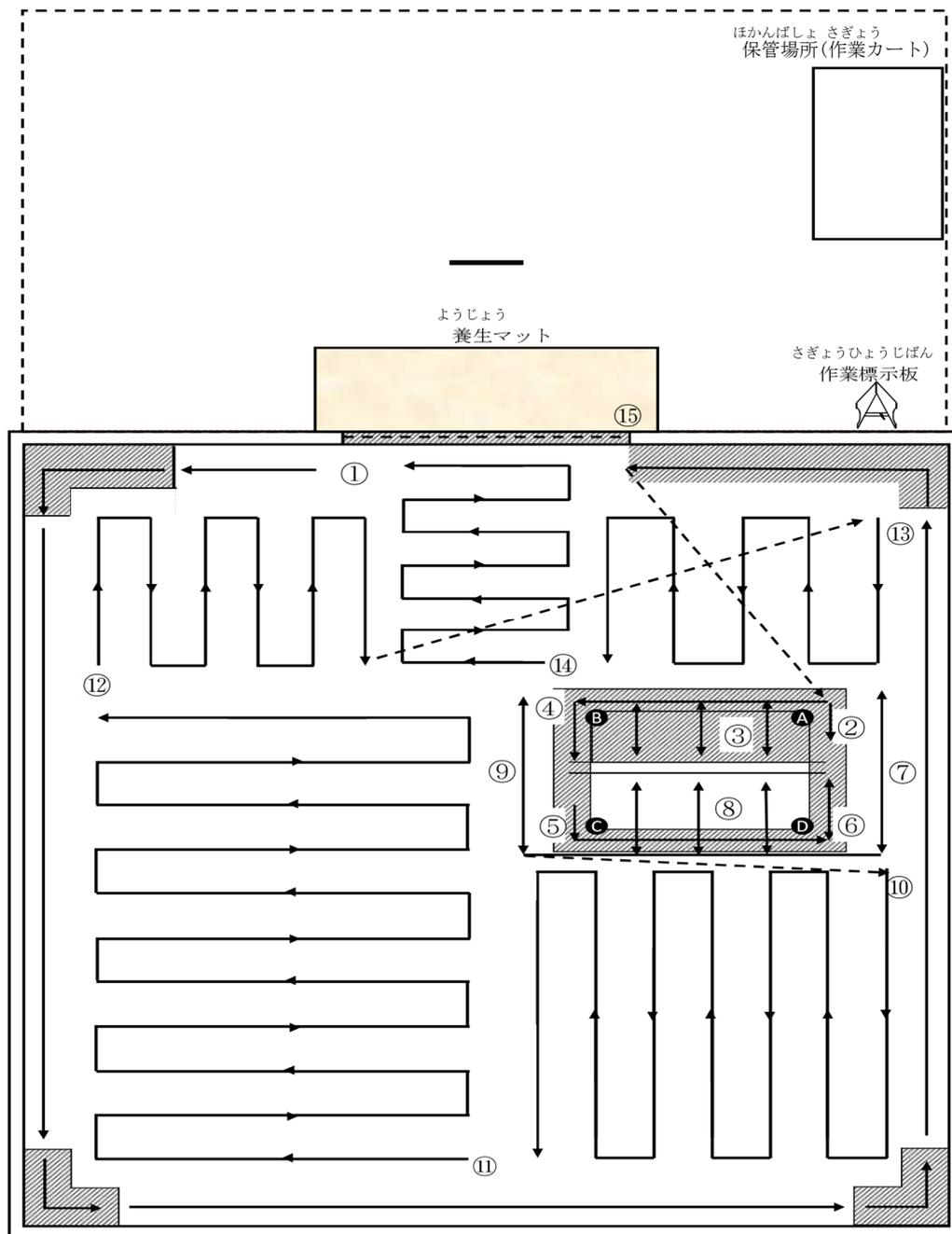
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

かんしき さぎょうてじゆん
乾式モップ作業手順



ちゆう かんしき
 注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

みずふ さぎょうてじゅん
水拭きモップ作業手順



ちゅう 注 :  印は手を添える箇所を示す。

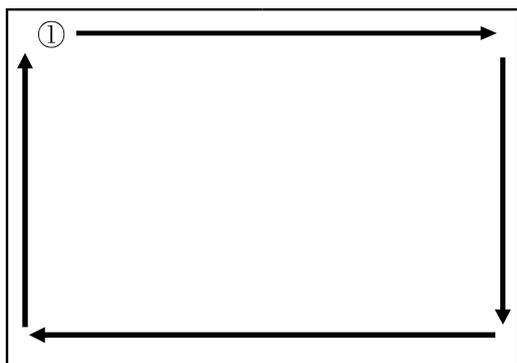
みずふ かいすう い 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 市木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの足回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥ B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く

- ⑦ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑧ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑨ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑩～⑭ スパンを決めて拭く
- ⑮ 入口を手を添えて拭く

机上拭き作業手順

イス(背)

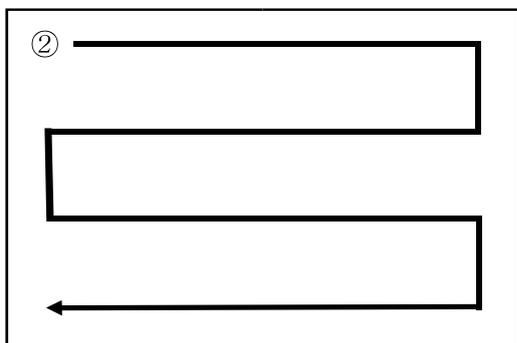


①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



← 作業時の立ち位置

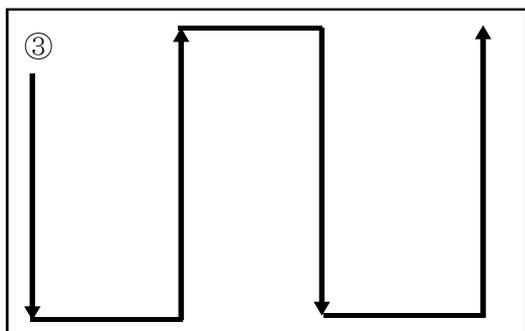
イス(背)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



イス(背)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)



※から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。